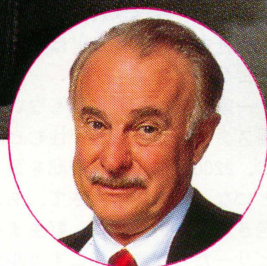


どんな都会のワレも、この一族にはかなわない!!

リッチな街ビバリーヒルズは野生のバイタリティで興奮状態!



The
Beverly
Hillbillies



ビバリー ヒルビリーズ

じゃじゃ馬億万長者

20世紀フォックス映画提供 ペネロープ・スフィーリス・フィルム ディードリッヒ・ベイダー ダブニー・コールマン
エリカ・エレニアック クロリス・リッチマン ロブ・シュナイダー リー・トンプソン リリー・トムソン ジム・ヴァーニー
音楽スコア:ラロ・シフリン 撮影:ロバート・ブリンクマン 脚本:ローレンス・コナー&マーク・ローゼンタール、ジム・フィッシャー&ジム・スタール
製作:イアン・ブライス、ペネロープ・スフィーリス 監督:ペネロープ・スフィーリス

サントラ盤:BMGビクター

DOLBY STEREO
IN SELECTED THEATRES



©1993 TWENTIETH CENTURY FOX



ビバリー ヒルビリーズ

じゃじゃ馬億万長者

●スタッフ●

監督ベネロープ・スフィーリス
撮影ロバート・ブリンクマン
プロダクション・デザイナーピーター・ジェイミソン
編集ロス・アルバート
音楽ラロ・シフリン

●キャスト●

ジェスロ&ジェスリーンディードリック・ペイダー
ミスター・ドライズデールダブニー・コールマン
ローラリリー・トンプソン
ミス・ハサウェイリリー・トムリン
ジェドジム・ヴァーニー

◆リッチな街ビバリーヒルズは、野生のバイタリティで興奮状態!!伝説的TVシリーズの大ヒット・コメディが90年代に甦った!!

いまアメリカ映画界は、テレビ隆盛期に絶大な人気を集めたヒット・シリーズから題材を取って、劇場映画の大作にリメイクするのがブームになっています。

ハリソン・フォード主演の『逃亡者』について、コメディの人気No.1だった『じゃじゃ馬億万長者』が登場し、どちらも大ヒットになり、この後もぞくぞく各社でテレビ・シリーズからのリメイクが登場します。

アーカンソーのオーザク山に住むヒルビリー(山奥に住む田舎者)、克蘭ペット家ですが、ある日、主人のジェド(『アーネスト・キャンプに行く!』のジム・ヴァーニー)が、山で仕事をしていると、突然、石油が吹き出します。アメリカ最大の埋蔵量の油田と評価され、10億ドルの契約で石油会社売れ、ジェドは一夜にして億万長者になったのです。

一家はテレビも電話もない田舎から、映画スターや億万長者が住むビバリーヒルズに、2200万ドルの超豪邸を買って引越すことになったのです。さて、あまりにも違い過ぎる生活の変化に、野生まっだしのヒルビリーたちが巻き起こすカルチャー・ショックの痛烈な風刺と爆笑の大騒動は?...



♥ヤングが爆笑・映笑・艶笑!『こんなにおもしろいとは知らなかった!!』と爆笑人気!『逃亡者』を追跡し全米大ヒット幕進中!

オンボロ車がロサンゼルスを走り、ビバリーヒルズの王宮のような豪邸にご到着。都会行きに最後まで反対していた頑固ばあちゃん(『ラスト・ショー』でオスカー受賞のクロリス・リーチマン)、ティーンのじゃじゃ馬娘エリー・メイ(『沈黙の戦艦』のセクシー・ニュースター、エリカ・エレニアック)、彼女の従兄でちょっと頭が弱いけど野生の男性的セックス・アピールにあふれたジェスロ(新スター、ディードリック・ペイダー)は、あまりの豪邸に目を回します。

豪邸をジェドに紹介したのは、ビバリーヒルズ銀行の頭取ドライズデール(ダブニー・コールマン)と、その秘書ミス・ハサウェイ(リリー・トムリン)です。ダブニーとリリーはヒット・コメディ『9時から5時まで』につぐ再共演。二人はジェドの大金を自分の銀行に何とか預金させようと、あの手この手でせまります。

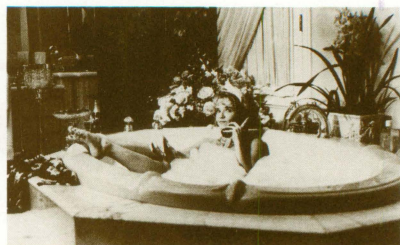
ジェドは妻と死別しており、ビバリーヒルズにやってきた理由の一つに嫁がしがかり、ミス・ハサウェイが大任を負うことになりました。またジェドには、じゃじゃ馬のエリーにレディ教育を授けたいという、もう一つの目的がありました。それを知ってドライズデールの部下で腹黒のタイラー(『ホーム・アローン2』のロブ・シュナイダー)は、愛人のローラ(『バック・トゥ・ザ・フューチャー』で日本でも人気No.1になったリリー・トンプソン)を、エリーのレディ教育の先生として克蘭ペット家に送り込んだのです。

♠フレッシュ・ニュー・スターとおかしさ最高の10大スター饗宴!!ハリウッドのトレンドイはこれ!

タイラーはローラと組んで、ジェドの財産をだまし取ろうと企んでいました。ローラもジェドが花嫁を探していると知ると、色仕掛けでアタックを開始します。二人の陰謀をめぐって、映画は爆笑につぐ爆笑のクライマックスへ.....

フレッシュ・ニュー・スターと、コメディのビッグ10・スターが大饗宴。カントリー・ウェスタンのクィーン、ドリー・パートンも本人の役で出演していますが、どこに出てくるかは見てのお楽しみ。ほかにテレビのオリジナルでジェドをやったバディ・イブセンも出演。ハンク・ウィリアムズの“アイム・ソウ・ロンサム・アイ・クッド・クライ”など、ゴキゲンのカントリー・ウェスタンが全編に流れ、全米大ヒットの『ウェインズ・ワールド』のベネロープ・スフィーリス監督が、またまた大成功。ハリウッドのトレンドイに乗り遅れるなど、特にヤング世代に大好評です。

『オリジナルのテレビ・シリーズよりだんぜん面白く、すべての世代にお勧め』(NBC・TV)。「おなががよくれるほど大笑いすること保証付き」(ASNエンタテイメント・レポート)と、マスコミも絶賛です。



*あの伝説の爆笑TVシリーズがビッグ・スクリーンに甦る!

3月中旬春休みロードショー!

特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200/ファミリー¥2600)発売中

有楽町・マリオン前

ニュー東宝シネマ1

03
(3571)
1946